

## 令和7年第5回（9月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	<p>1 豪雨災害における早期復旧と復旧体制の強化について</p> <p>(1) 早期復旧に向けたスケジュールについて</p> <p>(2) 国庫補助の対象にならない私有財産の復旧支援について</p> <p>(3) 財政調整基金に対する市の認識と対応について</p> <p>2 避難所運営の実態について</p> <p>(1) 避難指示の発令判断と情報伝達について</p> <p>(2) 避難所の開設状況と受入態勢について</p> <p>(3) 学校体育館のエアコン設置について</p> <p>3 市組織改編に伴う「子ども課」の教育委員会移管について</p> <p>(1) 組織改編における市長の権限の位置づけについて</p> <p>(2) 子ども関連施策の整合性と一貫性の確保について</p> <p>(3) 教育長の責務と期待される能力について</p> <p>(4) 市民や保護者との関わりについて</p> <p>4 市医療提供体制の維持と持続可能な医療の確保について</p> <p>(1) 佐渡総合病院における放射線治療終了に至る経緯</p> <p>(2) 市医療提供体制の維持に向けた将来的なビジョンと戦略について</p> <p>(3) 県・国との協議や支援要請の実績と今後の見通しについて</p> <p>(4) 市民との情報共有と合意形成のプロセスについて</p> <p>5 有人国境離島特措法の延長・拡充に向けた市の取組について</p> <p>(1) 現行制度下における佐渡市の成果と課題の整理について</p> <p>(2) 法律延長・制度拡充に向けた市の姿勢と国への働きかけ</p> <p>(3) 関係事業者との連携について</p>	山田伸之

順	質 問 事 項	質 問 者
2	<p>1 小・中学校の熱中症対策について</p> <p>(1) 今年6月から9月にかけて実施された小・中学校のスポーツ大会等において、熱中症による救急搬送や体調不良者は何件発生しているか</p> <p>(2) 島内でエアコンが整備されている体育館の利用状況について</p> <p>(3) 今後の小・中学校体育館へのエアコン整備計画について</p> <p>(4) 夏季のスクールバス運行において、期間の見直しについて検討しているか</p> <p>(5) 本市の小・中学校の夏休み期間は全国的に見て短い方か、長い方か。熱中症リスクの観点から、期間の見直しについてどのように考えているか</p> <p>2 指定海水浴場について</p> <p>(1) 指定海水浴場の課題について</p> <p>(2) 指定海水浴場の来場者数の推移</p> <p>(3) 指定海水浴場の開設期間について、延長など検討できないか</p> <p>3 さわた図書館について</p> <p>(1) 新しいさわた図書館の整備について、現時点での基本設計や建設スケジュールの進捗状況はどうか</p> <p>(2) 開館時間について、平日夜間や土日の延長開館の方向性は検討されているか。利用者ニーズ調査やモデル事例を踏まえた方針はあるか</p> <p>4 佐渡市総合計画について</p> <p>(1) 総合計画の前期計画の目標値と実績値の乖離について、どの分野において課題が最も大きいか</p> <p>(2) 令和9年度から始まる後期計画に向けて、修正すべき重点項目は何か</p> <p>(3) 市民や若者の意見を計画に反映させる仕組みはどのように整備されているのか</p> <p>5 産後ケアについて</p> <p>(1) 現在、市が提供している産後ケア事業の利用状況（利用者数、平均利用回数、対象者数に対する利用率）はどうか</p> <p>(2) 利用者から寄せられている要望や課題として、特に多いものは何か</p> <p>(3) 今後、宿泊型や訪問型の拡充、利用料の軽減など、より利用しやすくするための具体的な拡充計画はあるか</p> <p>(4) 医療機関や助産師との連携体制をどのように強化していくのか</p> <p>6 関係人口拡大について</p> <p>(1) 佐渡をふるさとのように毎年通ってくれている団体などの把握はできているか</p> <p>(2) 長く通ってくれている団体へ褒賞など検討できないか</p>	平田和太龍

順	質 問 事 項	質 問 者
3	<p>1 ふるさと住民登録制度創設への対応について問う</p> <p>(1) 佐渡市特定居住促進計画について問う</p> <p>① 佐渡市の目指すふるさと住民登録制度で求める関係人口は、どのような人物像か</p> <p>② ふるさと住民登録制度は、地域づくりの観点が求められるが、市民参加はどのようにしていくのか</p> <p>③ 特定居住支援法人「一般社団法人佐渡共生推進機構」の具体的な仕事と目標は</p> <p>④ 佐渡市複業協同組合の活動状況と今後の展開は</p> <p>⑤ 農林水産業に仕事や休暇を結びつける「アグリワーケーション」について検討されているか</p> <p>(2) さどまる倶楽部について</p> <p>① 運営の現状と今後の展開、並びに特産品の購入など、ふるさと納税への活用状況は</p> <p>② 地域通貨の検討状況について</p> <p>2 国民健康保険税滞納世帯への佐渡市の対応について</p> <p>(1) 国民健康保険税滞納世帯は何世帯あるのか。また、特別療養費支給世帯は何世帯あるのか(前年との比較も含めて)</p> <p>(2) 従来の国民健康保険証の廃止に伴い、医療機関へ受診する場合、国民健康保険税滞納世帯と特別療養費支給世帯への対応はどのようにしているか。また、特別療養費支給世帯に中学生以下の子供がいる場合の対応はどのようにしているか</p> <p>(3) 特別療養費支給世帯が医療を受ける必要がある場合に、医療窓口での一時払いが困難だと市役所窓口申し出た場合の対応は、どのようにしているか</p> <p>(4) 特別療養費支給世帯が医療を受けるために資格確認書の交付を求める場合に、特別療養費を支給する旨の記載のない通常の有効期限の資格確認書を交付できるか</p> <p>3 上下水道料金の改定における福祉減免措置の創設について問う</p> <p>物価高の中、水道事業は公共の福祉の増進に寄与することを目的としていること等を配慮し、限定的に水道料金の減免制度を創設すべきではないか</p> <p>4 佐渡市高齢者向け入浴事業補助金について問う</p> <p>高齢者の経済的負担軽減と健康増進及び外出機会向上のため、「佐渡市高齢者向け入浴支援事業補助金交付要綱」第4条の入浴料の上限を変更すべきではないか</p>	佐藤 定

順	質 問 事 項	質 問 者
4	<p>1 消防団のこれからについて</p> <p>(1) 現在の団員の充足率は佐渡市全体で何%か。また、どのような場所が不足しているのか</p> <p>(2) 充足率が不足している原因及びその対策はどのように行っているのか</p> <p>(3) 消防団に入団しない理由の一つに、操法大会出場が嫌だからという理由を聞くが、佐渡市の認識はどうか</p> <p>(4) 操法大会が団員にとって負担にならないようにと消防庁からの助言が佐渡市にも通達されていると思うが、助言に対し佐渡市の対応はどうか。また、それによる団幹部及び団員の反応はどうか</p> <p>(5) 操法大会が理由で入団をされないのであれば、そもそも本末転倒ではないかと考えるが、市長及び消防長の見解はどうか。また今大会の前に、佐渡市でも操法大会反対の署名活動が行われたと聞いているが、どのように受け止めているか</p> <p>(6) 操法大会でなくても、団員の技術向上をすることはできないのか。操法大会にしなければいけない理由を問う</p> <p>(7) 佐渡市でも初任者研修や県消防学校への研修派遣を行っているが、それぞれの参加率はどうなっているのか。その対策はどうか</p> <p>(8) 佐渡市で消防学校教員の現地派遣はないのか</p> <p>(9) まずは全団員にアンケートを取り、消防団活動に関する現在の考えを集約する必要があると考えるが、どのように考えているのか</p> <p>2 まつりの存続のための条例制定の提案について</p> <p>(1) まつりに人が集まるのが難しい状況について、市では原因をどのように考えているか</p> <p>(2) 佐渡市全体で各地域のまつりを守っていくためにも、地域間での理解が必要と考えるが、市ではどのような議論をしてきたのか</p> <p>(3) 理念条例を制定し、年に一度のまつりに参加しやすい制度をつくることについて、市長の考えを問う</p> <p>3 ごみのポイ捨て問題について</p> <p>(1) 観光客が増えた影響によるものなのか、従来から変わっていないのか、どのように受け止めているのか</p> <p>(2) 相互監視社会は望ましいものではないため、佐渡市全体としてモラル向上での解決策につなげたいが、市長からのメッセージを発信することはどうか</p> <p>4 書かない窓口の反響について</p> <p>(1) 利用率はどの程度か</p> <p>(2) 周知方法は、どのように職員に通知したのか。また既読機能などでの確認はできるのか</p> <p>(3) 通知したことを遂行していない職員の既読率の推移はどのようになっているのか</p> <p>(4) 今後の周知方法及び利用促進について、どのように考えているのか</p> <p>5 市内小・中学校の特別教室の空調の設置状況について</p> <p>(1) いつまでに完了する予定か</p> <p>(2) 財源の問題はクリアしているのか</p> <p>6 これからの佐渡を支える人材育成について</p> <p>(1) 合併後のUターン率はどのように推移しているのか</p> <p>(2) 自分たちで佐渡の課題を解決していくと考えUターンされた方への支援は、現在どのような制度があるのか</p>	川原 茂

順	質 問 事 項	質 問 者
4	<p>(3) 合併してから上記のような人材を佐渡に帰ってきてもらうために、どのような教育を行ってきたのか。今後どのようにそういった人材を獲得していくのか</p> <p>(4) 佐渡に帰って来なくてもよいと子どもに言う親がいるという話も聞く。子どもだけでなく、大人にも教育をしていく必要があると考えているが、現在、市では大人向けにどのような施策を行っているのか。また、どういった教育を行う必要があると考えているのか、教育長の考えを問う</p>	川 原 茂

順	質 問 事 項	質 問 者
5	<p>1 夏季特有の災害の防止対策について</p> <p>(1) 蜂刺されについて</p> <p>① 本庁及び出先機関における蜂対策用品（防護服、噴射式殺虫剤、毒液・毒針吸引器、軟膏ほか）の配備状況について</p> <p>② 保育園、学校における蜂の飛来や営巣発見の処理実績や対応方法の実態について</p> <p>③ 保育園、学校において、エピペン注射の講習受講者は確保されているか</p> <p>④ 全職員の健康診断における蜂毒の抗体検査の実施の有無やエピペンに関する情報提供について</p> <p>⑤ 全職員対象とした蜂対応マニュアル等の配備や教育機会について</p> <p>(2) 熱中症について</p> <p>① 出先機関における空調整備状況について</p> <p>② 職員執務室に空調がない場合、事務所衛生基準規則をどのように受け止め対応しているか</p> <p>③ 保育園における散歩等の屋外活動に対する基準等について</p> <p>④ 学校での保護者の送迎における課題について</p> <p>⑤ スポーツ大会等における熱中症の発生事例の有無や対策について</p> <p>2 医療関係について</p> <p>(1) 在宅医療やオンライン診療の現状と今後の具体的な取組や計画について</p> <p>(2) 新両津病院の立ち上げから現在までの経過について</p> <p>(3) 新両津病院に関する利用者からの声等の実態把握について</p> <p>(4) 旧両津病院の建物や敷地の今後について</p> <p>3 加茂湖の防災、カキ養殖の保護と資源活用について</p> <p>(1) 道路浸水への対応について</p> <p>(2) 水辺整備基本計画の策定について</p> <p>(3) クロダイの資源活用について</p> <p>4 産業振興について</p> <p>(1) 地域通貨について</p> <p>(2) インバウンド対策について</p> <p>(3) 入島税について</p> <p>5 保育園の統合に向けた対応の進捗状況について</p> <p>6 蛍光灯の製造中止（2027年）に係る市民への情報提供や支援について</p> <p>7 デジタル人材について</p> <p>(1) 今年度の各資格への挑戦者数の見込みについて</p> <p>(2) ITパスポート取得者の実務への効果について</p> <p>(3) 高度な資格への挑戦意欲を向上させるための取組について</p> <p>(4) 業務効率の向上について</p>	村川 拓人

順	質 問 事 項	質 問 者
6	<p>1 世界遺産登録1周年を迎えた佐渡の観光について</p> <p>(1) 観光文化スポーツ部となったことによる効果は出ているか</p> <p>(2) 食事場所のキャパシティー不足等、顕在化した課題は何か。その対策はどうか</p> <p>(3) 停滞している空路再開に関して、市としての対応策はどうなっているか</p> <p>(4) 目的税導入について、現在の検討状況はどうか</p> <p>2 移住交流の拡大と二地域居住の推進について</p> <p>(1) 移住に関して、世界遺産登録後の変化はあったのか。現状はどうか</p> <p>(2) UIターンの後、離島してしまう原因は何か。また、対策は可能か</p> <p>(3) 二地域居住の拡大推進策は何か。成果はみられるのか</p> <p>(4) 大学との域学連携及び高校を含めた島留学の成果と今後の展開方針はどうか</p> <p>3 8月の豪雨災害に伴う佐渡の農業課題と今後の対策について</p> <p>(1) 収穫に対する影響と対応策はどうなっているのか</p> <p>(2) 被害の復旧費用のうち、市道、農道の復旧に係る予算の見込みは。また、国・県の補助はどうなっているか</p> <p>(3) 米価高騰の中、佐渡産米のさらなる高付加価値化は検討可能か</p>	林 純 一

順	質 問 事 項	質 問 者
7	<p>1 佐渡市の医療について問う</p> <p>(1) がんの放射線治療は、赤字の可能性が大きな佐渡市になぜ存在するのか。その経緯を考えれば、なくすことはできないのではないか</p> <p>(2) 佐渡市からの1億2,000万円の支援があっても継続させることはできなかったのか。支援金は何に使われたか把握しているか</p> <p>(3) 厚生連ができなくなったら、佐渡市の医療はどうなっていくのか</p> <p>2 8月6日から11日の豪雨による災害対応について問う</p> <p>(1) 避難指示を出し、避難した人も多かったと聞くと聞くと、どのような災害を想定しての避難指示だったのか。その避難場所は適切だったか</p> <p>(2) 激甚災害に指定されたが、被害を受けた市民への対応は不公平がなく、万全な対応をしているか</p> <p>(3) 自主防災組織は機能したか。機能した組織はどのくらいか。そして、どのような役割を果たしたのか</p> <p>3 佐渡空港2,000メートル化の計画は進んでいるか</p> <p>(1) 佐渡空港の2,000メートル化は、佐渡の発展のためには必要な計画だが、30年あまり一向に進まないのはなぜか</p> <p>(2) 地権者との用地交渉が進まなくて実現しないと聞くと聞くと、どこまで進んでいるのか。今後の計画はどうなっているか</p> <p>4 佐渡市の人口減少対策をどのように展開していくのか</p> <p>(1) なぜ佐渡市の人口減少が進むと考えているか</p> <p>(2) 若者が働きたいと思える職場づくりに取り組んでいるか</p> <p>(3) 移住者に対して、佐渡の魅力であるスローライフや自然を生かした魅力的な生活を提供できる環境になっているか（医療・介護・教育の充実）</p> <p>5 人権キャラバンを受けて佐渡市はどのように対応していくか</p> <p>(1) インターネット上の差別情報にはどのように対応しているか</p> <p>(2) 同和教育推進のための計画の検証はできているか</p> <p>(3) 第4次男女共同参画計画の進捗状況はどうか</p> <p>(4) 人権条例策定に向けての計画はどのようにしていくか</p> <p>6 佐渡の林業活性化について問う</p> <p>(1) 林業が人手不足と聞くと聞くと、対策として、どのような対応をしているか</p> <p>(2) 佐渡産材の使用は伸びているか</p> <p>(3) 森林環境譲与税はどのように活用されているか</p>	中川健二

順	質 問 事 項	質 問 者
8	<p>1 金井運動公園入口の標識等について 設置した案内板の文字が見えないところがあるが、管理体制を問う</p> <p>2 佐渡の医療について問う</p> <p>(1) 透析、産科の診察等を継続できるか</p> <p>(2) 万代島フェリーターミナルから病院までの移動にシャトルタクシーを新潟県に要望するべきではないか</p> <p>(3) 佐渡総合病院と両津病院の看護師報酬、勤務時間を同等にできないか</p> <p>(4) 新潟県・国からの支援はあるのか。また、自衛隊に医療支援をお願いできないか</p> <p>3 大雨災害について問う</p> <p>(1) ハザードマップを見直すべきではないか</p> <p>(2) 小木行政サービスセンター、羽茂支所、赤泊行政サービスセンターを避難所・自主避難所にして、業務に問題はなかったか</p> <p>(3) 災害時の小木行政サービスセンター、羽茂支所、赤泊行政サービスセンターの職員数は適当か</p> <p>(4) 今後は、体育館でなく教室等を避難所にするのか</p> <p>(5) 体育館の屋根等に遮熱塗装できないか</p> <p>(6) 避難したい人は避難できたか</p> <p>(7) 高齢者・障がい者に段ボールベット等は必要ないか</p> <p>4 竹田地内の県道の花壇の管理は適正か 最初に施工した防草シートの上につる草が生い茂っているが、対応しないのか</p> <p>5 真野行政サービスセンター改修の進展について問う 図面はできたか</p> <p>6 真野ふるさと会館駐車場を舗装するべきではないか</p> <p>7 温水プール工事期間中の対応について問う</p> <p>(1) 1日に使用できる人数は</p> <p>(2) 自家用車のない方等の交通方法は</p> <p>(3) 使用時間等は決まったか</p> <p>8 無償譲渡した相川栄町6番の土地について問う 関係者との話合いに相川支所の職員が同席していると聞いたが、事実か</p>	山本健二

順	質 問 事 項	質 問 者
9	<p>1 雨天時の観光資源について</p> <p>(1) 観光客の満足度向上に向けた雨天時観光の課題認識について</p> <p>(2) 相川技能伝承展示館を拠点とした体験プログラムの受入状況と課題について</p> <p>(3) 裂織り・竹細工・陶芸体験のインバウンド対応について</p> <p>2 佐渡汽船における女性・子供優先スペースの確保について</p> <p>3 避難所運営シミュレーションについて</p> <p>(1) 避難所運営シミュレーションの実施状況と、当市の現状認識について</p> <p>(2) これまでの避難所運営やシミュレーションから見つかった課題と、その改善策について</p> <p>(3) 今後の訓練計画について</p> <p>4 投票所における冷房設備設置等の環境改善の計画について</p> <p>(1) 当市における冷房設備が未設置の投票所は何か所あるか</p> <p>(2) 今後の環境改善に向けた具体的な計画とスケジュールはあるか</p> <p>(3) 計画の実施にあたっての財源はどのように確保する予定か</p> <p>5 学校跡地の有効活用について</p> <p>(1) 当市における学校跡地の有効活用の成功事例について</p> <p>(2) 現在未利用の学校跡地の数と、今後の活用の可能性について</p> <p>(3) 今後廃校となる学校跡地の有効活用の検討状況について</p> <p>(4) 活用へ向けた譲渡や賃貸借条件等の情報公開の今後のスケジュールについて</p>	坂下真斗

順	質 問 事 項	質 問 者
10	<p>1 水道料金の値上げを考える  水道事業は市民、国民の暮らしのインフラである。生活やなりわいが大変なときに、料金の値上げを表明することは、市民の暮らしと営業を全くかえりみていないと言わざるを得ない。値上げ強行は市民からの理解を得られず、市政への不信を助長すると思うが、市長はどのように認識しているのか</p> <p>(1) 水道事業の総額は幾らと見込んでいるのか  (2) 水道料金の値上げは幾らまで考えているのか  (3) 経費削減や財源確保など具体的な計画はあるのか</p> <p>2 補聴器購入費補助の拡充について  補聴器購入費補助は市民から大変喜ばれている。使用していく中での破損に対して、現在補助対象外となっている修理費も補助対象にすべき。さらに、上限額も引き上げるべきではないか</p> <p>3 駐車禁止違反对策について  駐車違反を起こさせないように駐車場の確保をすべきではないか</p>	栗山嘉男

順	質 問 事 項	質 問 者
11	<p>1 市の平和推進施策について</p> <p>(1) 戦後 80 年で戦争体験等の継承問題が焦点だが、2014 年の佐渡市非核平和都市宣言を生かした市の平和推進施策は弱いのではないか</p> <p>(2) 2024 年にノーベル平和賞の日本原水爆被害者団体協議会等も推進している核兵器禁止条約の批准を求めていることや今年の広島平和宣言についての市長の見解は</p> <p>(3) 学校教育における平和教育の状況は。多くの県内市町村で実施している 8 月の広島平和祈念式典への生徒派遣を実施すべきではないか</p> <p>2 医療問題について</p> <p>(1) がん治療等の島内の放射線治療について、市として諦めたと理解しているのか</p> <p>(2) 今年 3 月策定したばかりの「新潟県がん対策推進計画（第 4 次）」の整合性について</p> <p>(3) 今後も採算の合わない医療分野は縮小されていくことになるが、周産期医療は大丈夫か</p> <p>3 介護施設入所の負担軽減について 物価高騰等の中、介護施設等の介護保険外の自己負担軽減支援策 介護施設等居住費助成事業、認知症対応型共同生活介護事業等の拡充など</p> <p>4 猛暑対策としての空調整備について</p> <p>(1) 気候変動に伴う災害級、殺人級の猛暑、酷暑と表現されている中、高齢者や弱者へ空調設備支援策を実施すべきではないか</p> <p>(2) 避難所となる学校体育館などへの空調整備</p> <p>5 原発再稼働について</p> <p>(1) 9 月 3 日の県知事定例記者会見で、9 月中の 1 万 2,000 人の県民意識調査を経て、10 月末頃に柏崎刈羽原発再稼働判断を行う方向を明らかにしたが、佐渡島民の不安は払拭されたと考えているのか</p> <p>(2) 県知事判断前に、最低限の市民の不安を解消できる対応を市として行うべきではないか</p>	中川直美

順	質 問 事 項	質 問 者
12	<p>◎ 人が人らしく生きられる佐渡を子どもたちに喜んで渡すために質問をする</p> <p>1 世界農業遺産と世界文化遺産を持つ佐渡独自の平和の取組を</p> <p>(1) 戦後 50 年の 1995 年の内閣総理大臣の村山談話では先の戦争責任について、戦争に向かった国策の誤り、植民地支配と侵略の認定、反省と謝罪の表明、犠牲者への追悼の認識が表明されています。そして戦後 80 年の今年の 8 月 15 日に全国戦没者追悼式で石破首相は、戦争責任に言及して反省と教訓、戦争の惨禍とその記憶の継承の決意、そして恒久平和への誓いを述べられた。これらの内閣総理大臣の認識を基礎自治体の長として渡辺市長はどのように受け止め、形にしていく考えか</p> <p>(2) 佐渡出身の初の外務大臣有田八郎は、日本の再軍備に反対し、平和を愛した政治家としても有名である。有田八郎直筆の書「何より平和」を掲げ、佐渡の平和のシンボルとして内外に広める時代と考えるが、どうか</p> <p>(3) 「何より平和」を学校教育と社会教育で取り上げる計画を求める</p> <p>2 柏崎刈羽原発の事故対応について</p> <p>(1) 柏崎刈羽原発の事故はあり得ると考えるか。その時の被害はどのようなものだと想定されているか</p> <p>(2) 柏崎刈羽原発が目前にある離島佐渡は、原発事故に特化した避難計画を立て、それに従った避難訓練をすべきである。この件について、国や花角新潟県知事は何と言っているか。佐渡ではいつ実現するのか</p> <p>3 世界遺産登録後の訪問者、観光のための整備について</p> <p>(1) 史跡保護計画が早急に必要である。北沢浮遊選鉱場跡は「ラピュタ」で売られるだけでいいのか</p> <p>(2) 道案内と現場案内の看板は、古かったり不足している。これらの見直しが必要であるが、どうか</p> <p>4 博物館の文化的、教育的使命を実現させる計画について</p> <p>(1) 博物館ビジョン策定において直面している問題は何かと何があるのか。それらをどう対処する予定か</p> <p>(2) 博物館の基本的使命について、一つずつ評価しているか。誰が行っていくのか</p> <p>① 収集・保存</p> <p>② 調査・研究</p> <p>③ 展示・教育</p> <p>④ 社会への奉仕</p> <p>⑤ 文化の継承と創造</p> <p>(3) 昨年度で佐渡学センターをやめた後、佐渡学推進の機能をどのように展開するか、議論はどこまで進んでいるのか</p> <p>5 外国出身の佐渡市住民への市民教育について</p> <p>(1) 佐渡在住の外国にルーツのある住民はどのくらいおられ、今後どうなっていくかの見通しを持っているか</p> <p>(2) 市内の外国にルーツのある住民が地域社会に参加し、安心して生活するためには、日本語教育にとどまらず様々な市民教育が不可欠である。生活ガイド、法制度や条例と義務・権利、文化・価値観、子どもの教育支援などの体制はどうなっているか</p> <p>6 佐渡島内での放射線治療継続について</p> <p>(1) 島内で放射線治療が受けられなくなることは、当事者の患者のみならず、佐渡住民全体の命の保障問題である。将来的に島内で放射線治療を継続できるように市として今後何らかの方針を立て、実現に向かう意思を持って</p>	荒井 眞理

順	質 問 事 項	質 問 者
12	<p>もらいたいが、どうか</p> <p>(2) 今後、島外で放射線治療を受けることになる女性たちが、日常的に担っている子育てや家事、介護を代行してもらうなどの経済的負担を解消する必要がある。そのための対応策を当事者と議論し、柔軟性を持って対応できるよう望むが、どうか</p>	荒井真理